

妻籠宿地域伝統芸能継承者育成

取組に至る背景・事業の目的

- 南木曾町内においては、伝統芸能を継承する保存会がたくさんあるものの、地域の行事に参加して発表する機会は少なかった。
- この伝統芸能を発表する場を設け、かつ観光振興に役立てる事により、継承者の日頃の練習の励みとするとともに、訪問者に対するおもてなしに資する。
- 夜間に行うことにより宿泊客の増加と夜の妻籠宿の魅力発信につなげたい。
- 地区における伝統芸能は、さいとろさし、妻籠陣屋太鼓、木曾踊りがあり、また、他地区の芸能を紹介することにより面での保存継承につなげたい。

事業内容

- 「妻籠宿伝統芸能の夕べ」での芸能披露
平成 23 年 8 月～9 月の土曜日の夜 5 回開催
 - ・さいとろさし
 - ・陣屋太鼓
 - ・木曾踊り（講習を含む。）
 - ・葛の葉（上松町小川里若連）
- 英語通訳による芸能紹介、説明書の配布
- アンケート（日・英）
- 参加者数：のべ 380 人



【妻籠陣屋太鼓】

事業効果

- 東北の大震災や台風による長雨の影響が大きく、参加者数は、前年度比 70%と大幅に減少したものの、夏の週末、妻籠宿の「伝統芸能の夕べ」は定着しつつある。
- 特に、木曾踊りは参加型の芸能として、哀愁を帯びた肉声での歌と素朴な踊りに参加者の満足度は高い。陣屋太鼓の迫力に驚きを持って称賛された。継続こそがおもてなしの評価であり、妻籠宿の魅力となる。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 8 月～9 月第 2 週までの毎土曜日の開催は観光業のピークと重なり、負担は大きいが夜の観光客を増加させる手段としてはベストと思われる。木曾地域においてこのようなイベントを開催し、おもてなしと観光振興につなげるために行っているところは無いがその先達として継続する。
- このような伝統芸能を披露する方も、参加する方も充実感、満足度を実感できる。妻籠宿に最もマッチした観光振興策と思われる。夜の魅力発信、外国人向けに英語での説明を今後も継続して妻籠宿の魅力の一つにする。

【選定のポイント】

補助事業後も自主的に継続してイベントを開催し、来場者数も増加するなど発展している。英語での紹介等の工夫は、伝統芸能を観光資源として紹介しようとする他地域の参考になり、モデル的である。

団体名 妻籠観光協会（南木曾町）	事業タイプ ソフト事業
連絡先 電話：0264-57-3123	事業費 662,233円
担当：藤原義則（事務局長）	支援金額 632,000円
ホームページ http://www.tumago.jp	
メールアドレス：info@tumago.jp	